

MSCI が信頼性の高いシグナルを一元的に提供する「SignalLab」を 立ち上げ

AI を活用したリスクプレミアムとマイクロインダストリー、ファクター、クラウドイングを集約する新たなプラットフォーム

東京 – 2026 年 10 月 8 日 – MSCI Inc. (NYSE: MSCI、以下「MSCI」) は、複数の投資領域にわたる、リサーチと体系的なメソドロジーに基づいて整備されたシグナルと、それらを大規模に検証・導入するために必要なツールを統合したプラットフォーム「SignalLab」の提供を開始しました。

現在の市場では、品質基準やメソドロジー、投資ユニバース、証券識別子が異なるデータやシグナルがベンダー各社から多数提供されているため、それらを比較することが難しいだけでなく、運用担当者が導入する際のプロセスも複雑化しています。SignalLab は、MSCI のデータとインフラを基盤に、標準化・文書化・そして検証された高品質なシグナルを 1 カ所に集約することで、こうした課題の解決を図るプラットフォームです。

従来、シグナルを利用するには、多くのリソースと時間をかけて社内で構築するか、複数のプロバイダーから調達して組み合わせる必要がありました。SignalLab では、すぐに利用できる状態のシグナルが一定の品質基準やメソドロジーに従って整備されているライブラリーに単一のプラットフォームからアクセスできるほか、独自のデータを同じ環境に取り込むことも可能です。

SignalLab は、50 年以上にわたる MSCI のファクターリサーチと、MSCI の指数および Barra モデルを支えるデータインフラを活用しています。また、日々更新される以下の 4 つの領域にわたり、リサーチ用途に耐えうる水準の 600 以上のシグナルを収録し、グローバルにカバーしています。

- **リスクプレミアム**：経済・金融分野の文献に基づくシグナル。AI エージェントがリサーチを読み取り、その内容を検証・スコアリングされたシグナルに変換し、MSCI のリサーチャーがその妥当性を検証
- **マイクロインダストリー**：AI を活用して構築された、企業の詳細な分類。独自の言語モデルによって初期のクラスタリングを行い、大規模言語モデル（LLM）によって定義を精緻化し、銘柄を分類したうえで、MSCI のモデル検証チームがその妥当性を検証
- MSCI の既存の FactorLab と Crowding シグナル

SignalLab は今後、新たなシグナルやデータモジュールを追加し、シグナルのカスタマイズや、MSCI の指数およびリスクモデルの構築環境へのデータ統合を可能にすることで、さらに進化します。

追加予定のモジュールには以下が含まれます。

- **ファンダメンタル・モメンタム**：企業の利益、利益率、収益性、アナリストによる予想修正の動向を捉えるシグナル
- **AI エクスプロージャー・インテリジェンス**：現在の AI 関連収益、競争上のポジショニング、ディスラプションのリスクを考慮し、AI が企業価値をどのように変化させているかを追跡する分類システム

MSCI のグローバル株式ソリューション及び株式分析責任者であるマーク・カーバーは、次のように述べています。「お客様からは、難しいのは必ずしもシグナルを見つけることではなく、そのシグナルが信頼でき、投資プロセスに付加価値をもたらすことを実証することだと伺っています。SignalLab は、こうしたお客様のニーズから生まれたもので、過去のデータを用いて投資アイデアを検証し、ポートフォリオ全体のリスクを可視化し、既存の投資モデルを補完するうえで必要となる信頼性、スピード、コントロールを提供します。」

MSCI SignalLab の詳細については <http://www.msci.com> をご覧ください。

以上

MSCI について

MSCI Inc. (NYSE: MSCI) は、金融エコシステム全体の参加者を共通言語でつなぐことで、グローバル市場の強化に貢献しています。当社の経験豊富なリサーチに基づき、かつ最新のテクノロジーによって支えられた、データ、リスク分析ツール、指数は、グローバル投資家にとってのスタンダードを確立するとともに、お客様がリスクと投資機会を理解することで、より良い意思決定を行い、イノベーションを実現できるよう支援しています。MSCI は、アセットマネージャーやアセットオーナー、プライベート市場のスポンサーや投資家、ヘッジファンド、ウェルスマネージャー、銀行、保険会社、そして事業法人にサービスを提供しています。詳細は www.msci.com をご覧ください。

MSCI 日本法人について

MSCI 日本法人は、日本の投資エコシステムのキープレイヤーとして、グローバルなインサイトとローカルな専門性を融合させることで、機関投資家および個人投資家の皆様がますます複雑化する投資環境に適応できるよう支援しています。当社は東京で 20 年以上にわたり事業を展開しており、日本の年金基金、保険会社、資産運用会社、ヘッジファンド、富裕層ビジネス、銀行および事業会社の皆様と長期的なパートナーシップを築いてきました。

高度な分析ツールやリスク管理ツールを活用するとともに、専門のリサーチチームを設置することで、投資家がより良い意思決定を行い、より強固なポートフォリオを構築できるよう支援しています。MSCI の指数は、日本の主要な機関投資家が資産配分を行う際の基盤となっているだけでなく、NISA の主要指数として、個人投資家によるグローバルな分散投資と長期

的な成長の実現にも貢献しています。MSCI 指数がグローバル投資家に広く活用されるなかで、MSCI 指数は包括的な役割を担い、日本企業とサステナビリティを重視するグローバル資本市場をつなぐことに寄与していきます。

さらに、私たちはクライアントの意思決定へのサステナビリティ統合を支援するとともに、「日本株女性活躍指数」や「日本株 ESG セレクト・リーダーズ指数」などの革新的なベンチマークを通じて、日本企業をグローバル資本市場につなぐ架け橋としての役割も果たしています。詳細は www.msci.com/japan をご覧ください。

お問い合わせ先

MSCI 広報代理 (CDR)

MSCIJapanPR@citigatedewerogerson.com

+81 (0)3 4360 9304

This press release contains forward-looking statements within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. Forward-looking statements relate to future events or performance and involve risks that may cause actual results or performance to differ materially, and you should not place undue reliance on them. Risks that could affect results or performance are in MSCI's Annual Report on Form 10-K for the most recent fiscal year ended on December 31 that is filed with the SEC. MSCI does not undertake to update any forward-looking statements. No information herein constitutes investment advice or should be relied on as such. MSCI grants no right or license to use its products or services without an appropriate license. MSCI MAKES NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR OTHERWISE WITH RESPECT TO THE INFORMATION HEREIN AND DISCLAIMS ALL LIABILITY TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY LAW.